

別表2

畿央大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

I. 畿央大学

畿央大学は生命の尊厳を基盤に、豊かな人間性と徳性を培い、専門的知識と的確な技術をもって地域社会および国際社会に貢献する人材を養成することを目標とする。そこで、畿央大学での学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

1. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち、幅広く豊かな教養を備え、社会で活動できる。
2. 人間を総合的に理解し、修得した専門的知識と技術をもって健康と教育に関する諸課題に適切に対応できる。
3. 地域の特性に主体的に対応し、地域の諸機関と連携・協働して地域の諸資源を活用できる。
4. 健康と教育に関する諸課題を分析評価し、問題解決を図ることができる。
5. 国際化に対応した視野をもって、健康問題・教育問題を科学的・創造的に研究できる。

II. 健康科学部

畿央大学健康科学部では、建学の精神（「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」）に則り、人間の身体と健康についての科学的視点や専門的知識・技術を養うことと合わせて、豊かな人間性を持ち、人の心の痛みに共感することができるような人材を育むことを目標とする。そこで、本学部における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

〔※（ ）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの〕

1. 生命の尊厳を基盤に豊かな人間性と確かな倫理観を持ち、人の心の痛みに共感することができる。（徳をのばす／態度・志向性）
2. 専門分野および関連分野の専門家との連携・協働に必要な協調性とリーダーシップを身につけている。（徳をのばす／態度・志向性）
3. 豊かな教養と幅広い視点を持っている。（知をみがく／知識・理解）
4. 人間の身体と健康についての科学的視点や専門的知識・技術を修得している。（知をみがく／知識・理解）
5. 保健・医療・福祉の各分野の専門家との連携・協働の土台となるコミュニケーション力、プレゼンテーションスキルを身につけている。（知をみがく／汎用的技能）
6. 国際化に対応できる知識・理解力を身につけている。（知をみがく／知識・理解、汎用的技能）
7. 修得した知識、研究・調査能力を用い、生涯にわたって自ら学び続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
8. 修得した専門的知識と的確な技術をもって、人間の身体と健康に関する今日的課題を解決し、自らの価値観のもとに創意工夫をこらすことで、地域社会および国際社会に貢献することができる。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

III. 健康科学部 理学療法学科

畿央大学健康科学部理学療法学科では、理学療法士としての深い専門的知識と高い技術を修得すると同時に、医療従事者として人間の尊厳、生命への畏敬を理解し、幅広い教養と倫理観を持った徳性のある人材を養成することを目標としている。さらに、保健・医療・福祉の各分野の専門家と連携・協働し、役割分担をしてチーム医療に参画することのできる人材を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

〔※（ ）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの〕

1. 医療従事者としての倫理観を持ち、人間の尊厳や生命への畏敬を理解している。
（徳をのばす／態度・志向性）
2. 保健・医療・福祉の各分野の専門家と連携・協働しつつチーム医療に参画し、チームの中でリーダーシップを発揮できる。（徳をのばす／態度・志向性）
3. 豊かな教養と幅広い視点を持っている。（知をみがく／知識・理解）
4. 理学療法学に関する深い専門的知識と高い技術を修得している。（知をみがく／知識・理解）
5. 保健・医療・福祉の各分野の専門家との連携・協働の土台となるプレゼンテーションスキルを身につけている。（知をみがく／汎用的技能）
6. 医療をめぐる問題の国際化に対応できる知識・理解力を身につけている。（知をみがく／知識・理解、汎用的技能）
7. 修得した知識、研究・調査能力を用い、生涯にわたって自ら学び続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
8. 理学療法学に関する専門的知識と的確な技術をもって、人間の身体と健康に関する今日的課題を解決し、自らの価値観のもとに創意工夫をこらすことで、地域社会および国際社会に貢献することができる。
（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

IV. 健康科学部 看護医療学科

畿央大学健康科学部看護医療学科では、高い専門性と臨地に役立つ実践力、およびチーム医療で活躍できる協調性を持ち、「全人的ケア」の行える人間性豊かな看護師・保健師を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

〔※（ ）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの〕

1. 医療従事者として、人間の尊厳や生命への畏敬について理解し、人の痛みや健康への願いを汲み取ることができる感性を持っている。（徳をのばす／態度・志向性）
2. チーム医療や高度医療、地域の訪問看護などの場面で、様々な医療関係者と円滑なコミュニケーションを図り協働し、リーダーシップを発揮できる。（徳をのばす／態度・志向性）
3. 豊かな教養と幅広い視点を持っている。（知をみがく／知識・理解）
4. 看護医療分野に関する高い専門性と臨地に役立つ実践力を修得している。（知をみがく／知識・理解）
5. 保健・医療・福祉の各分野の専門家との連携・協働の土台となるプレゼンテーションスキルを身につけ

ている。（知をみがく／汎用的技能）

6. 医療をめぐる問題の国際化に対応できる知識・理解力を身につけている。（知をみがく／知識・理解、汎用的技能）

7. 修得した知識、研究・調査能力を用い、生涯にわたって自ら学び続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）

8. 看護医療に携わる者として、あらゆる生活の場で生じる利用者のニーズを正しく理解し、責任を持って問題を解決していくことができる。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

V. 健康科学部 健康栄養学科

畿央大学健康科学部健康栄養学科では、食品・栄養・保健・医療分野にわたる教育研究を通して、健康づくりのための望ましい食生活とライフスタイルのあり方を解明し、それを実践・普及することのできる総合的な問題解決型人材を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

〔※（ ）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの〕

1. 生命に対する深い畏敬の念と豊かな人間性を持っている。（徳をのばす／態度・志向性）

2. 食品・栄養・保健・医療分野の専門家と連携・協働するために必要な協調性とリーダーシップを身につけている。（徳をのばす／態度・志向性）

3. 豊かな教養と幅広い視点を持っている。（知をみがく／知識・理解）

4. 食や栄養に関する高度な専門知識・技能を修得している。（知をみがく／知識・理解）

5. 食品・栄養・保健・医療の各分野の専門家との連携・協働の土台となるプレゼンテーションスキルを身につけている。（知をみがく／汎用的技能）

6. 修得した知識、研究・調査能力を用い、生涯にわたって自ら学び続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）

7. 健康づくりのための望ましい食生活とライフスタイルのあり方を総合的に解明し、それを実践・普及することができる。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

VI. 健康科学部 人間環境デザイン学科

畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科では、「すべての人が健康で豊かに生活できる環境をいかに創造するか」という問題意識を持って環境（衣・住）に関わるデザインができる人材を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

〔※（ ）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの〕

1. 幼児から高齢者、障がい者をはじめ、すべての人間に対する深い畏敬の念を持ち、デザインに携わる者としての倫理観を有している。（徳をのばす／態度・志向性）

2. 生活環境に関する様々な分野の専門家との連携・協働に必要なコミュニケーション力とリーダーシップを身につけている。（徳をのばす／態度・志向性）

3. 人体の構造・機能や人間の生活全般についての科学的認識を持っている。（知をみがく／知識・理解）
4. 建築・デザイン分野に関する総合的な知識と専門的視点を有している。（知をみがく／知識・理解）
5. 高度専門職業人として求められるプレゼンテーションスキルを持ち、自らの意見を正確に相手に伝えることができる。（知をみがく／汎用的技能）
6. 一人ひとりの特性に応じてデザインすることができる感性や創造力を生涯にわたってみがき続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
7. 修得した専門的知識と技術を土台として、これからの時代に必要とされる環境を適切に分析し、自ら創造していくことができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）

VII. 教育学部 現代教育学科

畿央大学教育学部および同学部現代教育学科では、現代的教育課題への対応を背景として、個人、家庭、学校および職域を含む地域社会全体の教育力の向上発展に寄与できる人材を育成することをめざす。そこで、本学部・学科における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

〔※（ ）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの〕

1. 生命への畏敬の念を持ち、教育に携わる者としての倫理観や子どもに対する深い理解と愛情を持っている。（徳をのばす／態度・志向性）
2. 同僚・保護者・地域との連携・協働に必要な協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを身につけている。（徳をのばす／態度・志向性）
3. 現代的教育課題に対する確かな理解と豊かな教養を備えている。（知をみがく／知識・理解）
4. 学校教育、幼児教育、保健教育に関わる分野の高度専門職業人として必要な教育学の諸理論、子どもの発達、各教科・領域の内容や指導法、学校保健等についての専門的な知識を有している。（知をみがく／知識・理解）
5. 高度専門職業人として必要な情報収集・処理能力やプレゼンテーションスキルを修得している。（知をみがく／汎用的技能）
6. グローバル化時代に求められる教育や特別な支援を必要とする子どもへの対応など、教育をめぐる新たな課題を理解し、それらに適切に対処できる力を身につけている。
（知をみがく／知識・理解、汎用的技能、美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）
7. 授業や保育、養護に関わる内容・活動について自ら考え、実践し、マネジメントしていく力を身につけている。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）
8. 生涯にわたって自律的に学び続け、教育者として自ら成長していくことができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
9. 修得した専門的知識と技術を活用し、地域社会全体の教育力の向上・発展に寄与できる。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

VIII. 助産学専攻科

畿央大学助産学専攻科では、修了要件に必要な単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に修了証

書を授与する。

1. 人間性豊かで対象を尊重できる。
2. 母子をとりまく社会のニーズや、産科医療の高度化並びに助産ケアの多様性に対応できる。
3. 女性のライフスタイルにおけるリプロダクティブヘルスに関する課題を捉えることができる。
4. 保健・医療・福祉チームとの連携を図り、地域社会に貢献できる。
5. 助産師としてのアイデンティティを形成することができる。

IX. 臨床細胞学別科

畿央大学臨床細胞学別科では、修了要件に必要な単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に修了証書を授与する。

1. 医療従事者としての倫理観を持ち、人間の尊厳や生命への畏敬を理解している。
2. 細胞診断学に関する深い専門的知識と高い技術を習得している。
3. 保健・医療・福祉チームとの連携を図り、地域社会に貢献できる。
4. 細胞検査士としてのアイデンティティを形成することができる。